

職員番号 ()

[illegible]

氏 名	
-----	--

*希望職種等（希望するものすべてを○で囲んでください。）

希望校種	幼稚園 小学校 中学校 高等学校
希望職種	講師 養護助教諭 学校事務職員 栄養士 生徒指導補助員 介助員 特別支援教育支援員 土曜教室指導員 巡回指導員 ()
希望勤務形態	常勤 非常勤

*所有免許状に関係なく指導・勤務可能なものすべてに印をつけてください。
（「進んで」は◎、「やれる」は○、「自信はないがやってもよい」は△）

幼稚園							
	学級担任		保育補助		養護		
小学校							
	学級担任		音楽専科		家庭専科		図工専科
	理科専科		特別支援学級		養護		事務
中学校							
	国語		社会		数学		理科
	音楽		美術		保体		技術
	家庭		英語		養護		事務

*諸活動（部活動・ボランティア等）

--

*特技

--

*健康状態

--

*志望動機

--

*一身上について特殊事情・要望等があれば、記入してください。

--

本記載事項が事実であるとともに、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の各号のいずれにも該当しないことを誓います。
令和 年 月 日 氏 名 (自署)

補充教職員調書

職員番号 ()

令和2年4月1日現在

ふりがな 氏 名	わかやま たろう 和歌山 太郎	性 別 男	S 〇〇年〇月〇日生 (〇〇) 歳 H	3 ヶ月以内に撮影 した写真を添付す ること
現 住 所	〒640-8511 和歌山市七番丁 2 3 番地		電話 (073) 435-1196 携帯 090-1234-5678	

學歷・職歷

[illegible]

所有免許状等

取得年月日	所有免許状（教科名も記入）、臨時免許状 及び その他資格	修了確認期限
H○年○月○日	小学校教諭 1 種免許状	H○年○月○日
H○年○月○日	中学校教諭 1 種免許状（数学）	H○年○月○日
H○年○月○日	高等学校教諭専修免許状（数学）	H○年○月○日
H○年○月○日	中学校助教諭免許状（社会）	R○年○月○日
R○年○月○日	司書教諭	

氏 名	
-----	--

*希望職種等（希望するものすべてを○で囲んでください。）

希望校種	幼稚園 小学校 中学校 高等学校
希望職種	講師 養護助教諭 学校事務職員 栄養士 生徒指導補助員 介助員 特別支援教育支援員 土曜教室指導員 巡回指導員 （ ）
希望勤務形態	常勤 非常勤

*所有免許状に関係なく指導・勤務可能なものすべてに印をつけてください。
（「進んで」は◎、「やれる」は○、「自信はないがやってもよい」は△）

幼稚園

学級担任	保育補助	養護
------	------	----

小学校

学級担任	音楽専科	家庭専科	図工専科
理科専科	特別支援学級	養護	事務

中学校

国語	社会	数学	理科
音楽	美術	保体	技術
家庭	英語	養護	事務

*諸活動（部活動・ボランティア等）

--

*特技

--

*健康状態

--

*志望動機

--

*一身上について特殊事情・要望等があれば、記入してください。

親戚などが在籍していたり、勤務していたりする学校園、交通手段についてなど任用にあたっての特殊事情・要望等があればお書きください。
--

本記載事項が事実であるとともに、地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の各号のいずれにも該当しないことを誓います。

令和 年 月 日	氏 名 (自署)	必ず署名
-------------------	-------------	------

採用者給料査定書

番号	所属コード 学 校 名	職 名	職 員 番 号 氏 名	※ 前 回 発 令 (今回発令に引続く場合記入)			※採用区分	※ 今 回 発 令		※ 査定月日	※ 班長認印	※ 査定者印					
				級・号給	金 額												
※	※		☆	職 名	級／号給	金 額	正 式 採 用 期 限 付 採 用 臨 時 的 任 用 任 用 替	令和 年 月 日 採用		月							
			⑩	令和 年 月 日				給料表：小中教育、県立教育、行政、栄養、現業									
生年月日 昭和・平成 年 月 日生 歳						円		級 号給	円	日							
修 学 歴	学校名（学部・専攻学科）		卒業・修了年月		修学年数		学校名（学部・専攻学科）		卒業・修了年月		修学年数		※ 基準学歴（給与査定基礎）		卒		
													※ 必要修学年数		年		
			年 月 卒 ・ 修		年				年 月 卒 ・ 修		年		※ 修学年数とみなす年数		年		
													※ 学歴修学年数		年		
			年 月 卒 ・ 修		年				年 月 卒 ・ 修		年		※ 過剰又は不足年数		年		
職	勤務場所（職務内容）			期 間			勤続年数		※ 換算率	※ 換算年数		※ 基準年数（修学年数調整後）				年 月	
												※ 電算入力年数（換算前）				※ 備 考	
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		10割 本県		年 月			
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		10割 他官公庁		年 月			
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		8割		年 月			
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		5割		年 月			
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		計		年 月			
歴				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		【記入上の注意事項】（学歴、職歴等は給料決定の基礎となるため、正確に記入すること。）					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		1 <u>本校内のみ、記入すること。</u>					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		2 ☆印欄は、平成9年1月1日以降に職員であった場合のみ、その <u>職員番号</u> を記入すること。					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		3 年齢は、採用日現在のものを記入すること。					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		4 修学歴は、高等学校から学校名、専攻・学科名、中退・卒業・修了の別等を記入すること。 短期大学及び大学の通信制課程にあつては、通信制と記入すること。					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		5 職務内容は、採用形態（正式採用・アルバイトの別）、職名等を記入すること。 <u>非常勤講師にあつては週担当時間数を記入すること。</u>					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月		6 職歴には、 <u>在家庭(無職)、浪人、留年の期間</u> についても記入すること。					
				年 月 ～ 年 月			年 月		割	年 月							
	合 計						年 月			年 月							

【記入例】

採用者給料査定書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以降の臨時任用時の職員番号	※	※	職員番号 氏名	→319367			戸籍上の氏名を正確に記入し、鮮明に押印する	
			和歌山 太郎	印				
令和2年4月1日現在の満年齢	生年月日		昭和・平成56年 8月13日生 38歳					正規の修学年数を記入する
高等学校から記入、大学は専攻学科まで	修学歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数	
	修学歴	〇〇高等学校 普通科	H12年 3月 卒・修	3年		年 月 卒・修	年	
		〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H17年 3月 卒・修	4年		年 月 卒・修	年	
留年、浪人の期間も職歴欄(1行目)に入れる	職歴	勤務場所(職務内容)	期 間		勤続年数			
アルバイトか正式かを記入する		浪人	H12年 4月～H13年 3月		1年 月			
臨時任用の場合は講師と記入する		〇〇〇株式会社(正式)	17年 4月～21年 3月		4年			
非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合		〇〇小学校(講師)	21年 4月～21年 7月		年 4月			
		在家庭	21年 8月～21年 8月		年 1月			
		〇〇小学校(講師)	21年 9月～22年 3月		年 7月			
		〇〇高等学校(非常勤講師週2h)	22年 4月～24年 3月		2年 月			
		〇〇高等学校(非常勤講師週6h)	年 月～年 月		年 月			
		〇〇高等学校(非常勤講師週8h)	24年 4月～25年 3月		1年 月			
非常勤講師の場合は1週間あたりの授業時間数を記入する		〇〇高等学校(初任研補充月1日)	年 月～年 月		年 月			
	〇〇中学校(講師)	25年 4月～26年 3月		1年 月				
	在家庭	26年 4月～27年 9月		1年 6月				
	〇〇中学校(講師)	27年10月～R2年 3月		4年 6月				
月1日の初任研補充も記入する		合 計			16年 月			

- 職歴は、卒業から令和2年3月31日(令和2年4月以降作成の場合はその時点)まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭でその後採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名・捺印のうえ、右上をステープラー止める。

採用者給料査定書の書き方

氏名、生年月日を記入、年齢は記入しない

修学歴

高校、大学名を記入

修学年数 大学→ 4年 短大→ 2年 専門学校→ 1年～3年

通信制の課程の場合は「通信制」と記入すること。

職歴

勤務場所（勤務内容）

※ 正式採用、派遣、アルバイト等職名を必ず記入すること。

※ 同時にアルバイト等を複数行っていた場合はどちらか一方を書くこと。

※ 講師の場合は常勤講師、非常勤講師の別を書くこと。

非常勤講師の場合は週あたりの勤務時数を必ず記入すること。

非常勤講師で同時に2校以上勤務している場合は段毎に記入する。

※ 仕事をしていない期間は在家庭と記入する。

※ 行が足りない場合は、複数枚に分けて記入する。

（紙を貼付けて行を増やしたりしない。）

※ 浪人、留年も職歴に記入する。

期間について

途切れないように、重ならないように年月が連続するように記入する。

例 1

H31/4/ 1～R元/5/10 A社

元/5/11～ 元/7/31 B社

元/8/ 1～ 2/3/24 C小学校

勤務場所

A社（アルバイト）

B社（派遣）

C小学校（常勤講師）

期 間

H31年4月～H31年4月

R元年5月～R元年7月

元年8月～ 2年3月

例 2

H31/4/ 1～H31/4/10 A社

31/4/11～R元/6/20 在家庭

元/6/21～ 元/7/10 B社

A社（アルバイト）

在家庭

B社（派遣）

H31年4月～H31年4月

R元年5月～R元年5月

元年6月～ 元年7月

例 3

H31/4/ 1～H31/4/10 A社

31/4/11～ 31/4/30 在家庭

R元/5/ 1～ 元/7/10 B社

A社（アルバイト）

※ [この場合、在家庭は記入しない]

B社（派遣）

H31年4月～H31年4月

R元年5月～R元年7月

3部提出（捺印は2部、残り1部は捺印しない）

前 歴 査 定 書

発令年月日	学校園名	職名	氏名
令和 年 月 日			

修 学 歴	学校名	卒業・修了年月日	修学年数	生年月日	年齢
	小学校	年 月 日	年	年 月 日生	歳
	中学校	年 月 日	年		
	高等学校	年 月 日	年		
		年 月 日	年		
		年 月 日	年		
		年 月 日	年		

職 歴	勤務場所	勤務内容	期 間	勤続年数	換算率	基準年数
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月

計	年 月
月 数	月
／12	

【記入例】 太枠で囲んだところのみ記入する。

前 歴 査 定 書

発令年月日	学校園名	職名	氏名
令和 年 月 日			

小学校から記入する

修 学 歴	学校名	卒業・修了年月日	修学年数	生年月日	年齢
	〇〇市立〇〇小学校	S 年 月 日	6年	年 月 日生	歳
	〇〇市立〇〇中学校	H 年 月 日	年		
	〇〇県立〇〇高等学校	年 月 日	年		
	〇〇大学幼児教育科	年 月 日	年		
		年 月 日	年		
		年 月 日	年		

令和2年4月1日現在で記入

※ アルバイトや在家庭も記入する

職 歴	勤務場所	勤務内容	期 間	勤続年数	換算率	基準年数
	私立〇〇幼稚園	教諭	H 7年 4月～H10年 3月	3年 月	割	月
	在家庭		H10年 4月～H10年 8月	年 5月	割	月
	市立〇〇幼稚園	保育補助	H10年 9月～H11年 3月	年 7月	割	月
	〇〇株式会社	事務アルバイト	H11年 4月～H12年 6月	1年 3月	割	月
	市立〇〇保育所	保育補助	H12年 7月～H14年 3月	1年 9月	割	月
	市立〇〇幼稚園	助教諭	H14年 4月～H20年 3月	6年 月	割	月
	市立〇〇幼稚園	講師	H20年 4月～H22年 3月	2年 月	割	月
	在家庭		H22年 4月～ R2年 3月	10年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月
			年 月～ 年 月	年 月	割	月

計	年 月
月 数	月
／12	

※ 在家庭の履歴も入れ、つながるように記入してください。

※ 勤務内容欄には任用形態(正式採用・臨時的任用・非常勤・アルバイト等)を記入してください。

※ 2019年5月1日より、元号は「令和」になります。